

里地里山の保全・活用の取組における課題と技術的方策等

分類	多様な主体の連携・協働/環境教育
手法名	「源流大学」による里地里山学習・流域連携保全活動の促進と源流地域の活性化
主体	東京農業大学「多摩川源流大学」・山梨県小菅村
背景(地域の課題)	<p>温暖多雨で台風の常習地であることや地形が急峻であることなどから山地災害が多いわが国は、およそ1200年も前から「森を育てれば、森が山を守ってくれる」として、禁伐や留山としながら地域共同で森林を大切に守ってきた。特に、源流域においては、地域文化そのものが森林保全とセットで進められてきた。</p> <p>しかし近年源流域の山村では過疎化・少子化の進展が急速に進む中、里山の管理が十分に行われず荒廃するケースが各地で見られるようになってきている。源流域の里地里山の荒廃は下流域への災害を誘発するなど流域全体に悪影響を及ぼすものであり、地域の共通財産である森林を守り健全な形で次世代へ受け渡すことが共通の課題となっている。</p>
手法/方策の詳細	<p>東京農業大学では流域の自然資源や文化を学生達が体験する実践教育を進めるとともに、大学と源流域の知恵を融合することによって、過疎化や少子高齢化に悩む源流域の再生を目指している。その中心的取組として平成19年度より「多摩川源流大学」による教育実践活動を展開している。</p> <p>1) 地域特性 多摩川源流大学(以下、源流大学)の拠点は山梨県小菅村に置かれている。全長138km、山梨、東京、神奈川県を流れる多摩川の最初の一滴は、この村の笠取山から生まれている。村の総面積5,265haの9割が森林で覆われ、その約半数が東京都の水源地となっている。</p> <p>2) 大学カリキュラムの内容 平成18年のプレ実習にはじまり、19年5月には8年前に休校となった白沢分校(小菅小学校の分校)を源流大学拠点施設として再生。20年度から地元講師による本格的な実習が行われている。主なカリキュラムは、1学年の基礎コース(源流学概論や源流基礎実習など)、2学年の応用コース(源流生態学、源流文化論や源流応用実習など)、3学年の実践コース(源流原論、源流農業、源流林業、源流実習など)からなり、本学のカリキュラムとも連動している。</p> <p>3) 有志による多様な課外活動の展開 本学カリキュラムの他に、学生達の有志によって、35年ぶりの水田復活、休耕地における蕎麦、麦(11種)、コンニャクなどの再生をはじめ、しめ縄、干し柿、味噌づくり、郷土料理や神楽、源流まつり体験など多様な課外活動が生まれてきている。</p> <p>4) 源流大学の持つ教育効果 源流実習を通して学生達は、地元講師から「自然の恵みをいただき、自然に返す」という循環の論理や自然に学び、共に生きる共生の論理など、地域が培ってきた「技」「知恵」という生きた理論を学んでいる。それは、農学の持つ深層を探り、新たな進化を見つけ出すことにもつながっている。</p>
手法・技術的視点	<p>源流域の里地里山の保全・活性化が全国的な課題となっている中で、本事例は流域連携を大学授業カリキュラムの設定による学習と交流活動から推進し、源流域の振興へつなげていこうとしている。</p> <p>本事例のような地域と大学との連携による取り組みは、全国各地の源流域でも流域特性に応じながら様々な展開を検討することが可能な仕組みであると考えられ、注目される。また、大学だけでなく下流域の都市部住民・企業など他の多様な主体においてもボランティアや研修制度など学習と交流の仕組みを検討する上で参考になるものと考えられる。</p>

<p>実行プロセス・運営体制のイメージ</p>	 <table border="1" data-bbox="406 660 1348 1131"> <thead> <tr> <th data-bbox="406 660 630 728">森林体験コース</th> <th data-bbox="646 660 869 728">農業体験コース</th> <th data-bbox="885 660 1109 728">源流体験コース</th> <th data-bbox="1125 660 1348 728">景観体験コース</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="406 728 630 1131"> <ul style="list-style-type: none"> 森林を計画・管理するための「森林診断」の習得 生態系調査、林業における下草刈り間伐などの作業を実施。 森林荒廃の実際対処できる高い専門技術を学び・体験する </td> <td data-bbox="646 728 869 1131"> <ul style="list-style-type: none"> 「開墾」「収穫」「食べる」の一連の作業体験 歴史・農業の現状についての理解 「農家弟子入り」(各農家での小人数実習)による体験学習 </td> <td data-bbox="885 728 1109 1131"> <ul style="list-style-type: none"> 源流域の文化・歴史・生活からの学び 地元講師の指導によるそば打ち体験や地元の食材を活かした郷土料理の講習会、神楽の見学、竹かご編みづくり等様々な実習 </td> <td data-bbox="1125 728 1348 1131"> <ul style="list-style-type: none"> 人が生きてきた証である美しい源流域の景観を体感し、今後どうすればいいか、マクロ・ミクロ様々な視点から考察 住民と共にに良い景観を探すワークショップ等を行い景観の見方を習得 </td> </tr> </tbody> </table>	森林体験コース	農業体験コース	源流体験コース	景観体験コース	<ul style="list-style-type: none"> 森林を計画・管理するための「森林診断」の習得 生態系調査、林業における下草刈り間伐などの作業を実施。 森林荒廃の実際対処できる高い専門技術を学び・体験する 	<ul style="list-style-type: none"> 「開墾」「収穫」「食べる」の一連の作業体験 歴史・農業の現状についての理解 「農家弟子入り」(各農家での小人数実習)による体験学習 	<ul style="list-style-type: none"> 源流域の文化・歴史・生活からの学び 地元講師の指導によるそば打ち体験や地元の食材を活かした郷土料理の講習会、神楽の見学、竹かご編みづくり等様々な実習 	<ul style="list-style-type: none"> 人が生きてきた証である美しい源流域の景観を体感し、今後どうすればいいか、マクロ・ミクロ様々な視点から考察 住民と共にに良い景観を探すワークショップ等を行い景観の見方を習得
森林体験コース	農業体験コース	源流体験コース	景観体験コース						
<ul style="list-style-type: none"> 森林を計画・管理するための「森林診断」の習得 生態系調査、林業における下草刈り間伐などの作業を実施。 森林荒廃の実際対処できる高い専門技術を学び・体験する 	<ul style="list-style-type: none"> 「開墾」「収穫」「食べる」の一連の作業体験 歴史・農業の現状についての理解 「農家弟子入り」(各農家での小人数実習)による体験学習 	<ul style="list-style-type: none"> 源流域の文化・歴史・生活からの学び 地元講師の指導によるそば打ち体験や地元の食材を活かした郷土料理の講習会、神楽の見学、竹かご編みづくり等様々な実習 	<ul style="list-style-type: none"> 人が生きてきた証である美しい源流域の景観を体感し、今後どうすればいいか、マクロ・ミクロ様々な視点から考察 住民と共にに良い景観を探すワークショップ等を行い景観の見方を習得 						
<p>図・写真資料</p>	<p>地元講師による現地解説</p>  <p>大学連携活動で復活した伝統貯蔵施設</p>  <p>保全整備活動の様子(マコモダケ圃場の管理作業例)</p> 								
<p>参考資料</p>	<p>平成24年度里なび研修会in山梨県パワーポイント、レジュメ資料(宮林茂幸氏) 東京農業大学源流大学ホームページ http://www.nodai.ac.jp/genryu/index.html</p>								